

大阪府貝塚市における基本計画の概要

計画のポイント

本市では住工混在解消による操業環境の向上などを目指し、二色の浜産業団地への産業集積を図ってきた結果、製造業を中心とした企業立地が進んだ。今後も多様なものづくり関連産業等における生産性向上、販路拡大を支援し、地域経済の活性化を図る。

また、市内の医療・福祉・介護事業の集積や、複数の専門教育機関による実践的な職業教育に伴う即戦力人材の輩出、高齢化率の上昇などといった本市の特色を背景とし、増大・多様化するニーズに対応すべく、本市の充実した医療・福祉・介護の体制を活かし、医療・ヘルスケア分野の事業拡大や新規展開を支援する。

さらに、卸売業・小売業の集積と本市の良好な交通インフラの活用により、成長への好循環の実現と地域経済の活性化に繋げていく。

その他、農業分野においては、農業産出額全体で府内5位、野菜産出額について府内1位といった本市の高い水準を活かし、農商工連携や農業の6次産業化の取組み、販路開拓などを支援することで、地域経済の活性化を図っていく。

これらの取組みにより、付加価値額の増加、新たな雇用の創出、イノベーション、産業集積などを実現し、地域経済が活性化することを目指していく。

促進区域

大阪府貝塚市

《促進区域図》

経済的効果の目標

計画期間内において1事業者あたりの平均68.89百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引企業を2件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.25倍の波及効果を与え、計画期間を通して172.3百万円の付加価値を創出することをめざす。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

- ①貝塚市の食料品製造業、鉄鋼業、金属製品製造業等を中心とした産業集積を活用した成長ものづくり分野
- ②貝塚市内の病院、医療系大学・専門学校、福祉施設等の集積を活用した医療・ヘルスケア分野
- ③貝塚市の充実した広域交通体系を活用した卸売・小売、物流分野
- ④貝塚市のなす、みつば、たまねぎなどの特産物を活用した農林水産分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：68,89百万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上額：1%以上増加 ●雇用者数：5%以上増加
- 雇用者平均給与総額：4%以上増加

制度・事業環境の整備

【制度の整備】貝塚市産業集積促進助成金、貝塚市中小企業積極的事業展開促進補助金、企業誘致の促進、市内企業の支援に関する奨励策の導入、貝塚市企業人材確保奨学金返還支援補助制度、大阪府の企業立地の優遇制度、地方創生関係施策

【事業環境の整備】公共データの公開・提供、産業振興に係る連携協定、産業用地の確保、事業継承等の重要性・支援策の周知、切れ目のない支援

地域経済牽引支援機関

貝塚商工会議所、株式会社池田泉州銀行、株式会社りそな銀行、貝塚市農業委員会、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、公益財団法人大阪産業局、大阪信用保証協会

計画期間

計画同意の日（令和6年3月22日）から令和10年度末日まで

